

第1学年音楽科学習指導案

指導者 赤池 夏実

1. 題材名 「曲の構成を感じ取り、よりよい表現を工夫しよう」

2. 題材の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- (2) 旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特性や雰囲気を感じながら、知覚・感受したことの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 歌唱表現を工夫することで生まれる曲の様々な変化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、日本の歌曲に親しむ。(学びに向かう力・人間性等)

3. 指導事項との関連

第1学年 「A 表現」 (1) 歌唱

ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること

イ (ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり

ウ (ア) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けること

[共通事項] (1) ア (本題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素: 「旋律」「構成」)

4. 題材設定の理由

本教材は、「夏の思い出」を教材とした【表現】歌唱の題材である。本題材を通して、曲想と歌詞の構造や歌詞の内容に関心をもち、尾瀬の美しい情景や自然の美しさ、「夏の思い出」の旋律の動きについて理解し、歌ったり録音した自分の声を聴いたりしたりしながら、自分の思う曲にふさわしい歌唱表現を目指して歌うことをねらいとしている。

生徒は、日々たくさんの音楽の中で生活している。年度初めに音楽に関するアンケートをすると「音楽を聴くこと」「歌ったり楽器を演奏したりすること」が“好きである”と答えた生徒が多くいた。1年生の生徒は音楽の授業にも意欲的で、「We' ll Find The Way～はるかな道へ」の二部合唱では、美しいハーモニーを表現するために深い声で歌ったり、楽譜に表記されている強弱記号をダイナミックに表現したりして伸びやかに歌い、歌唱表現活動を楽しむ姿が見られた。

本題材の学習を通して、どのような歌唱表現が曲にふさわしいか思いや意図を明確にし、自ら練習を繰り返し行うことでよりよい歌唱表現をすることができることを目指していきたい。そのために、豊かな表現をしたものとそうでないものを比較聴取することで、それぞれの表現の違いに気づかせる活動を取り入れる。また、今後の表現活動に生かすことができる曲にふさわしい表現の工夫を見つけて、豊かな表現活動をしようとする気持ちを育むことを目指していきたい。

5. 教材について

(1) 歌唱教材

「夏の思い出」 江間章子 作詞 / 中田喜直 作曲

鑑賞教材

「花」 武島羽衣 作詞 / 滝廉太郎 作曲

(2) 教材選択の理由

「夏の思い出」は二長調で4分の4拍子、速度は♩=63 ぐらいでゆったりとした曲想である。言葉の抑揚に合った音のつながり方や旋律の反復や変化による二部形式であり、歌詞の内容や旋律の動きと強弱の変化などに関わらせて、歌唱表現を工夫することができると考えた。歌唱しながらよりよく表現しようと追究するためにふさわしい教材である。また、同じ二部形式で作られた「花」の強弱の変化がダイナミックについている演奏とそうでない演奏を聴き比べることで、曲想に合うよりよい表現とは何か追究することができる。今後の歌唱活動に生かせる力を身に付けたいと考え、この教材を選択した。

6. 題材の評価規準

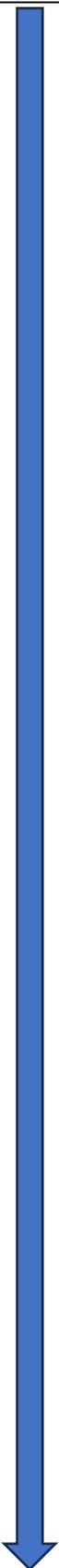
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 知 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ② 技 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて歌唱で表現している。	思 旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	態 歌唱表現を工夫することで生まれる曲の様々な変化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現の歌唱の活動に取り組もうとしている。

7. 指導計画と評価計画（全3時間）

時	◎ねらい ○学習内容 ・学習活動	評価規準 【評価方法】			☆Aと判断する生徒の状況例 ■個別な働きかけを要する生徒への支援
		知技	思	態	
					◎「夏の思い出」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特性や雰囲気を感じる。

<p>○「夏の思い出」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容と関わりについて関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞から想像した情景や作詞者の心情を自由に話し合う。 ・作詞者、作曲者について知る。 ・「夏の思い出」の範唱を聴き、感じ取った曲想など音楽の特徴で気づいたことを個人でワークシートに記入し、学級全体で発表する。 ・階名唱で繰り返し歌唱し、旋律を覚える。 <p>○二通りの歌唱による「花」を比較聴取し、表現の違いについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を使用し、二通りの歌唱による「花」を比較聴取し、それぞれの歌唱から聴き取ったと感じ取ったことをワークシートに記入する。それぞれの歌唱の表現について、違いや共通点に触れさせる。 ・ワークシートに記入したことをもとにグループで意見を交わし、学級全体で発表する。 <p>○提示された「夏の思い出」のαの部分（1段目）の表現の工夫をもとに、一斉に歌唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や言葉の抑揚、旋律の動きなどを根拠とした表現の工夫を実践し、歌う。 <p>○「夏の思い出」を歌唱し、自分の歌声を録音する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夏の思い出」1番を一斉に歌唱し、生徒自身のタブレット端末で自分の歌声を録音する。 ・ヘッドホンを使って録音を聴き、聴き取ったことや感じ取ったことをワークシートに記入する。どのように表現したいかという思いをもつ。 <p>○本時を振り返り、今後の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価カードに本時の振り返りを記入する。 ・次時はグループで表現の工夫を考え、実践していくことを理解する。 	<p>【知】 【ワークシート】</p>		<p>【知】☆知覚した音楽を形づくっている要素やそれらの働きが生み出す特性や雰囲気を感じ取ったことを具体的に記述している。</p> <p>■曲想の違いについて聴き取れない生徒には、どのような表現かたずね、教師と一緒に言葉にしていく。</p>
---	-------------------------	--	--

◎知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。

<p>2</p>	<p>○“どのような表現の工夫をしたら、曲に合ったよりよい表現だと感じるのか”という問いに対して、仲間とともに単調な「夏の思い出」を聴きながら考えを伝えあい、歌唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人グループのうち一人のタブレット端末にヘッドホンをつなぎ、全員で同じ部分を聴く。 ・音楽を繰り返し味わって聴きながら，“どのような表現の工夫をしたら、曲に合ったよりよい表現だと感じるのか”という考えをグループで交わし、ワークシートに記入する。 ・それぞれのグループで出た意見を発表する。 <p>○「夏の思い出」の前半A (a,a') の部分 (1, 2段目) の表現の工夫をグループで考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前半A (a,a') の部分 (1, 2段目) の歌詞の内容や言葉の抑揚、旋律の動きなどを根拠とした表現の工夫を考え、実践する。 ・タブレット端末を使ってグループで一斉に録音し、客観的に聴いたときに工夫されているか確認する。 <p>○「夏の思い出」1番を一斉に歌唱し、生徒自身のタブレット端末で自分の歌唱を録音する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の録音を聴き、グループ活動での他の生徒の意見を参考にしながら、どのように表現したいか思いや意図をワークシートに記入する。 <p>○よりよい表現をするためにはどうしたらよいか個人で考え、楽譜に表現の工夫や音楽記号などを書き込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの部分を歌いたいか選ぶ。 ・“どのような表現をして歌いたいか”という思いや意図をもとに、どのような工夫をしたらよりよい表現ができるか考える。 <p>○本時を振り返り、次回の授業の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートで録音した音源を提出する。 ・自己評価カードに本時の振り返りを記入する。 ・よりよい歌唱表現をすることができるよう、次回の授業では個々で歌唱練習を行っていくことを確認する。 		<p>【ワークシート】</p>		<p>【思】☆曲にふさわしい表現について具体的なイメージをもち、どのように歌うかについて、旋律や構成以外の要素についてもよりどころとしながら、自分の言葉で表現している。</p> <p>■どのように表現したいかという思いや意図がもてない生徒に対しては、音楽の変化をつけずに教師が歌い一緒に考えたり、友達の意見を参考にさせたりする。</p>
----------	---	---	-----------------	--	--

◎創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けた歌唱で表現する。

3 (本時)	<p>○「夏の思い出」の録音を聴き、前時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一斉に「夏の思い出」を歌う。 ・ヘッドホンを使って前時の録音を聴き、グループ活動を通して曲に合ったよりよい表現について考えたり試したりできたことを振り返る。 <p>○自分なりの表現の工夫を実践できるよう、歌唱と録音を繰り返し、練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の活動を参考に、1時間目の録音を聴き返ししながら、どのような表現の工夫をしたいか試行錯誤する。 ・様々な表現を試したり録音して確認したりすることを繰り返し、試行錯誤する。 ・試行錯誤しながら表現する中で、考えた方法と違う表現の工夫が見つかったら楽譜に書き込む。 ・個人で、グループで、など、個々に合った学習の仕方ですべて歌唱してよい。【個別最適な学び】 ・活動途中で数人の表現の工夫を学級全体で共有し、一斉に表現する。 ・最終的に録音した音源を、ロイロノートで教師に提出する。 <p>○1時間目・2時間目と本時の最後に録音した音源を聴き比べ、3時間の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の表現の変容について聴き、できるようになったことやできなかったこと・今後の歌唱活動に生かしたいことを自己評価カードに記入する。 	 【技】 【観察・録音音源】	 【主】 【観察】 【自己評価カード】	<p>☆繰り返し歌ったり聴いたりする活動を通して、よりよい表現で歌うために目標を意識しながら歌唱表現を創意工夫している。</p> <p>■目標を意識させ、教師と一緒に歌う。</p>
-----------	--	--	---	--

8. 本時の展開（3時間目）

(1) 日 時 令和6年7月5日（金）14：10～15：00

(2) 場 所 山梨大学教育学部附属中学校 第1音楽室

(3) 本時の目標 「創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けた歌唱で表現する。」

(4) 展 開

過程	学習のねらいと学習活動	教師の指導・支援	評価・備考
導入 (5分)	1.「夏の思い出」の録音を聴き、前時の振り返りをする。		学習形態 一斉、個人

	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉に「夏の思い出」を歌う。 ・ヘッドホンを使って前時の録音を聴き、グループ活動を通して曲に合ったよりよい表現について考えたり試したりできたことを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの振り返りを意識させながら、歌わせる。 ・前時に使用したワークシートを確認させる。 	<input type="checkbox"/> 【観察】
<p>展開 (40分)</p>	<p style="text-align: center;">本時のねらい：「曲に合ったよりよい表現の工夫をして、歌唱しよう」</p> <p>2. 自分なりの表現の工夫を实践できるよう、歌唱と録音を繰り返し、試行錯誤する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の活動を参考に、1時間目の録音を聴き返ししながら、どのような表現の工夫をしたか試行錯誤する。 ・様々な表現を試したり録音して確認したりすることを繰り返し、試行錯誤する。 ・試行錯誤しながら表現する中で、考えた方法と違う表現の工夫が見つかったら楽譜に書き込む。 ・個人で、グループで、など、個々に合った学習の仕方で歌唱してよい。【個別最適な学び】 ・最終的に録音した音源を、ロイロノートで教師に提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜の書いてあるワークシートにメモしながら活動させる。 ・タブレットに録音しながら録音させ、聴いたり歌ったりすることを繰り返す。 ・活動途中で数人の表現の工夫を学級全体で共有し、一斉に表現する。 ・必要に応じて、教師や友人に録音を聴いてもらう。 	<p>学習形態 個人</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>【観察】 【録音音源】</p>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>3. 1時間目・2時間目と本時の最後に録音した音源を聴き比べ、3時間の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の表現の変容について聴き、できるようになったことやできなかったこと ・今後の歌唱活動に生かしたいことを自己評価カードに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く取り組めたか・試行錯誤しながら学習に向かうことができたかなどに触れながら、振り返らせる。 	<p>学習形態 個人</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>【自己評価カード】</p>